

第 2 回

入ゼミ説明会

マーケットデザイン

栗野盛光研究会



栗野盛光研究会では、広い意味での市場（マーケット）や社会経済制度のデザインを研究しています。インセンティブ、効率性、公平性の観点から、ゲーム理論やメカニズムデザインを使って、どのような制度が良いのかを検討します。

栗野先生 インタビュー

ゼミ員が栗野先生にインタビューを行いました！ぜひ先生の専門や人物像の参考にしてみてください！

—マーケットデザインとはどういう分野なのか？

「経済理論を実践しようという分野です。経済理論が蓄積され、実社会の制度デザインに役立つように研究を行ってきました。」

—マーケットデザインを学ぶ上で必要なことは？

「まず経済理論をしっかり学ぶこと。その次に社会の問題について考えることです。例えば新聞を読んだとき、実際に起こっている問題に対して自分が今まで学んできたことを使って解決策を考えることが大切です。」

—ゼミの活動について

「実際の市場や社会の制度を経済理論で分析し、望ましい制度やルールを考えることを行っていきます。ゼミ生には自らが取り上げたい市場を分析してもらい、望ましいデザインを考えてもらいたいと考えています。そのために必要なことをゼミ生に提供していく予定です。」

—先生の今までの研究について

「マッチング市場と呼ばれる市場のデザインを研究してきました。最初の博士論文ではアメリカの大学の寮の分配についてでした。なぜ上級生から寮の割り当てが決まるか疑問に思ったのです。そこでマッチングの観点から観察し、学年の移り変わりという動学的な構造を入れたところ、効率性やインセンティブの観点から優れた方法であることが証明できました。最近では日本の市場のデザインをしたいと考えています。今は肺移植のドナー交換移植のマッチングや、望ましい進学振り分け制度、チケットの転売防止なども考えています。」

—先生が最近興味を持っていることは

「市場ごとにどういったメカニズムが最適か、考える必要があります。市場には分権的、集権的といった二種類の市場があります。分権的な市場とは、各個人が独自に動き価格が決まる市場のことで、集権的な市場とは、ある第三者がプレファレンスを集めてマッチン

グを行う市場のことを指します。これまでのマッチング理論は問題がある市場に望ましい集権的なメカニズムを導入することが中心でした。ですが、実際は分権的な市場が多いのです。そこで、私が興味を持っているのは分権的な市場と集権的な市場の違いと、財やサービスなどに対する順位付けの仕組みの二つです。」

オープンゼミ開催のお知らせ

栗野盛光研究会のオープンゼミを 12月19日(水) に行います！ゼミの雰囲気をつかむ非常に良い機会になると思いますので、ご都合がつく方は是非ご参加ください。

オープンゼミでは、慶應大学経済学部の入ゼミ制度に関する経済実験を行う予定です。

また、オープンゼミに参加する方は、ゼミのメールアドレスか Twitter の DM で、事前に参加希望の旨をお伝えください。ゼミのメールアドレスは、

keio.econ.kurino@gmail.com

です。よろしく願いいたします。

1. サブゼミやパートゼミの説明

栗野ゼミのみで行うものは基本的には有りません。その代わりに、横国とのインゼミに力を入れています。また、自分の興味があるテーマについて、先生と相談して少人数の勉強会を開いて頂けることが有ります。

2. 今後の予定

日吉での教授説明会と、オープンゼミ、第三回ゼミ説明会があります。オープンゼミは、12月19日水曜日に行います。オープンゼミに参加希望の方は、Twitter か上記のゼミのメールアドレスでご連絡ください。

3. 連絡先等 (ゼミ HP、Twitter、先生の HP)

<https://keiokurinoseminar.wixsite.com/kurinozemi>

TwitterID: @econ_kurino

<https://sites.google.com/site/mkurino/japanese-site>



(ゼミ HP の QR コードです。ご利用ください。)